

の反射率からもとめた。また一方では、布上の P. V. A. の除去および精練の状態を電子顕微鏡で観察した。さらに、白度の上昇、布の劣化を引張り強度の低下よりもとめた。

3. 同時精練法では高アルカリ濃度のもとでは NaBrO_2 の効果は顕著ではないが、浴温度が 60°C 以下ではその効果が認められる。

未晒布では P. V. A. 糊付布に比べて高いアルカリ濃度を必要とし、2%付近が最もよく、それ以上の濃度ではかえってよこ糸に P. V. A. の付着がみられる。

NaBrO_2 による漂白効果はアルカリ側ではあまり認められない。また、布の強度の低下もほとんどみられない。

B—10 P. V. A. 糊付け布の亜臭素酸ナトリウム溶液によるデサイジング

大阪市大家政 皆川 基
○藤井富美子
奥山 春彦

1. 最近製織用経糸糊材として P. V. A. が使用されるにともない、従来の酵素糊抜剤にかわり、新しく亜臭素酸ナトリウム (NaBrO_2) が注目されているが、その使用方法についてはまだ十分検討されていない。

本実験では主として一浴法での同時精練法についてアルカリ濃度、浸漬温度の影響、界面活性剤の効果について検討した。

2. 試布として工業用未晒布と 60 番綿ブロードに P. V. A. 5%水溶液で糊付けした布を用いた。各条件で糊抜き後、未処理布を含めて、布上の P. V. A. の定量はヨード・硼酸飽和溶液による呈色反応で示される灰紫色